

今年も上位に本県生産者が多数！第60回日本ばら切花品評会 ～国内最大規模のバラとガーデンの祭典「第18回国際バラとガーデニングショー」も開催～

世界のバラと美しいガーデニングを紹介する国内最大規模の祭典「国際バラとガーデニングショー」では、全国のバラ切花生産者がその技術を競い日本一を決める「日本ばら切花品評会」（日本ばら切花協会主催）も行われています。品評会を通じて生産者が互いに技術研鑽を図るとともに、生産技術や品種育成の高度化により日々魅力が増しているバラ切花を一般に向けてPRし普及させることを目的として毎年開催されています。



第60回日本ばら切花品評会の様子

第60回日本ばら切花品評会 開催概要

- 日時／審査 5月11日(木)
一般公開 5月12日(金)～13日(土)
- 場所／メットライフドーム
(旧西武プリンスドーム、埼玉県所沢市)
- 主催／日本ばら切花協会

第19回国際バラとガーデニングショー 開催概要

- 日時／5月12日(金)～17日(水) 9：30～17：30
- 主催／国際バラとガーデニングショー組織委員会
(毎日新聞社、NHK、スポーツニッポン新聞社)
- 内容／バラ及びガーデンのテーマ展示やコンテスト、ステージイベント、各種体験、物販コーナー
(詳細は公式Webサイト：<http://www.bara21.jp/>)



国内最大規模のバラとガーデニングの祭典

特別賞に多数入賞！「ぐんまのバラ」の品質の高さを今年も証明

400名を超えるバラ切花生産者で組織する日本ばら切花協会では、国際バラとガーデニングショーと併せて日本ばら切花品評会を毎年開催しています。今年は全国各地から280点の出品があり、本県からも40点の出品があるなど品評会は盛大に行われました。

結果は表のとおりで、58点の入賞のうち、本県生産者が12点入賞しました。惜しくも農林水産大臣賞は逃しましたが、最高で5位（静岡県議会議長賞）を獲得するほか、上位28点の特別賞のうち本県は参加した都道府県で最も多い10点が入賞しました。

第60回日本ばら切花品評会 主な本県出品物の結果

特別賞名	品種	県名	生産者名
1 農林水産大臣賞	アマダ+	佐賀	-
2 農林水産省生産局長賞	ジュミア	埼玉	-
3 静岡県知事賞	スプラッシュセンセーション	茨城	-
4 関東農政局長賞	スイートオールド	佐賀	-
5 静岡県議会議長賞	アヴァランチェ+	群馬	御赤城M'sローズ(前橋市)
6 日本放送協会会長賞	テナチュール	"	櫻井新太郎(桐生市)
7 (一財)日本花普及センター会長賞	ミントティ	"	星野裕治(渋川市)
10 (一社)日本生花商協会会長賞	ロッシュ+	"	根岸彰吾(みどり市)
11 (一社)JFTD会長賞	シャンスクレマー	"	摩庭孝宜(前橋市)
12 (公社)日本フラワーデザイナー協会理事賞	アプリコットファンデーション	"	井上秀一(前橋市)
15 静岡県経済農業協同組合連合会理事賞	テネレッツァ	"	山本敏彦(前橋市)
16 静岡県花卉園芸組合連合会長賞	ブルゴーニュ	"	大谷伸二(前橋市)
18 関西生花市場協同組合理事賞	ヴェラヴィータ+	"	井上秀一(前橋市)
23 榎世田谷花き社長賞	イリオス	"	大澤圭介(前橋市)



1位 農林水産大臣賞
アマダ+ (佐賀県)



2位 農林水産省生産局長賞
ジュミア (埼玉県)



3位 静岡県知事賞
スプラッシュセンセーション(茨城県)



4位 関東農政局長賞
スイートオールド (静岡県)



5位 静岡県議会議長賞
アヴァランチェ+ (群馬県)

選ばれたのは『心に響くバラ』。定番品種よりも個性的で新しい品種に

主催者によると、審査の上で最も重視していることは『心に響くバラ』であることで、売れ筋や使いやすさ、流行などよりも審査員それぞれの心にときめくものを評価しています。

また審査員からは、「近年の花き業界の厳しさが影響しているのか、単価が安定している定番的な品種が多く出品され、目新しい品種や個性的な品種が少なくなっているのが残念。心に響くものはやはり珍しくて個性的な品種であり、上位入賞はそういった品種が多くなっている。ただし、1席のアマダ+は全てにおいて完璧であり断トツの結果。」とのことでした。

近年はオーソドックスな花色や花型よりも、花色（原色ではない色や複色）や花弁の形、咲き方、花の大きさや草姿など、他とは異なる個性をもつバラが人気を集めています。

本県生産者は花き市場でも高い評価を得ていますが、本品評会では毎年のように多数の上位入賞があることから、その技術レベルの高さが本物であることを証明しています。

他県生産者からも、「後継者も入っているし、群馬は今勢いがある！」との声も聞かれており、実際に本県のバラ生産では事業を活用した施設整備による生産体制の強化が進むほか、販売促進に向けた市場PRや販促資材の作成も行われるなど、本県花きをリードする存在となっています。



個性的な色と花型が特徴のテナチュール+
(6位 日本放送協会会長賞 (群馬県))



市場PR



ぐんまバラポスター

「圧倒的なバラやガーデン空間」へトリップ

会場となったメットライフドーム内は、バラやガーデニングに関連したブースや展示とともに多くの来場者でにぎわいを見せていました。

目玉となったのは、創流90年のいけばな流派草月流家元による『世界最大のバラのいけばな』(右写真)で、1000輪のバラを使った高さ10m近くある“和の意識とバラが魅せる”特別展示となっていました。

その他、ウェルカムガーデンや各テーマにあわせた展示、各種コンテスト、バラ苗やガーデン資材等の販売も行われ、愛好家から一般の方までがバラとガーデニングを身近に感じ親しめるイベントとなっていました。



世界最大のバラのいけばな

<その他本県産の特別賞入賞品>



7位
ミントティ



10位
ロッシュ+



11位
シャンスクレマー



12位
アプリコットファンデーション



15位
テネレッツァ



16位
ブルゴーニュ



18位
ヴェラヴィータ+



23位
イリオス